



1月12日、都の杜うぐいすホールにおいて、「第60回都留市成人式」を執り行いました。今年新しく大人の仲間入りをしたのは、平成5年4月2日から平成6年4月1日までで生まれたみなさんで、該当者は664人となります。

当日は、この該当者のうち、男性159人、女性156人の計315人が式典に出席し、きらびやかな振袖姿や羽織袴、スーツなどを身にまとい、数年ぶりに会った友人らとの再会を喜び、談笑する姿が会場のおちらこちらで見受けられました。



# 晴れやかに、華やかに 第60回都留市成人式



式典は、1時から行われ、堀内市長が「現代は、大変厳しい時代環境にあると言われていますが、明るい社会を築き発展させていくためには、皆さんのような若く豊かな感性と熱い情熱、そして柔軟な思考力と旺盛な行動力は必要不可欠です。今後とも、誇りや愛着の持てる活力あふれる地域社会を目指し、皆さんの持つ能力・資質を存分に活かして、本市のまちづくり積極的に参加・協力いただきますようお願いいたします。」と式辞を述べ、新成人の新たな門出を祝いました。また、多くのご来賓の方からも温かい励ましの言葉をいただきました。

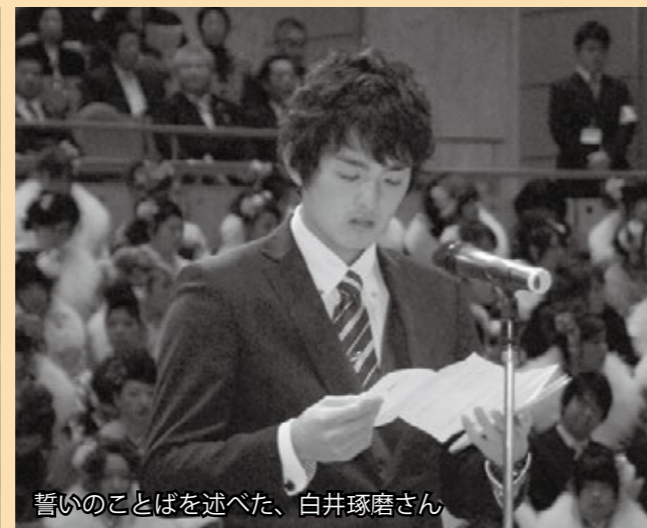
新成人を代表しての誓いのことばは、東桂中学校卒業生の白井琢磨さんが行いました。白井さんは、「私たちはまだまだ未熟な存在です。そんな私たちが少しでも早く大人として役立つためには、一人の自立した『個人』として成長すること、また、お互いに協力し合える仲間として、叱咤激励しあえる関係を築いていくことが大切だと考えます。」と、成人としてあるべき姿への決意を述べ、また、育ててくれた方々や故郷である都留市に感謝の気持ちを述べました。

また、お礼のことばは、都留第二中学校卒業生の河野麻衣さんが行いました。河野さんは、式典の開催と、温かい激励の言葉に御礼を述べた後、富士山の文化遺産登録や、東京オリンピック開催にも触れ、「これから私たちは、社会を構成し、それを動かし、担っていくこととなります。それと同時に、大人としての義務と責任を背負い、一人の社会人として新たな未来を築いていこうと思います。」と述べ、式典の最後を締めくくりました。

また、式典終了後、第二部として、新成人へのお祝いの言葉を各中学校の恩師からいただいたビデオレターが上映されました。新成人のみなさんは、中学時代の写真や恩師の顔が写しだされると、歓声を上げ、当時を懐かしんでいました。



お礼のことばを述べた、河野麻衣さん



誓いのことばを述べた、白井琢磨さん